

 <h1 style="text-align: center;">会津大学 後援会だより</h1>	<p>第51号 発行：会津大学後援会(事務局 学生課) 発行日：2024年3月1日 住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 電話：0242-37-2515 URL：https://u-aizu.ac.jp/</p>
--	---



学長あいさつ

「学生の成長は目覚ましい」

会津大学長 東原 恒夫

会津大学での16年間の私の教員生活を振り返り、学生さんの成長の様子を述べてみたいと思います。10代の終わりから20代前半にかけての学生さんの成長には、非常に目を見張るものがあります。入学後の授業は主に、座学形式の講義と演習で構成されます。講義は高校までと大きくは違いませんが、演習では自分で手を動かすことで、プログラミングや実験の課題に取り組むことになります。演習の体験を積むことで主体的な学びが徐々に身についてきます。さらに、本学の特徴である「課外プロジェクト」という自由科目があり、ここでは、学年を問わず実習を通して研究の一端に触れることができます。

本学では卒業論文作成のために指導教員への配属が他大学より早い3年生からになります。説明会や課外プロジェクトなどを通して、2年生の後期に指導教員を決めていきます。ひとりの指導教員当たりの学年毎の受入学生数は原則で最大4名と少人数になっていることも特徴です。指導教員の方針により進め方は異なりますが、3年生になると週一回程度のゼミや勉強会に参加して、研究の現場の雰囲気や直に触れることになります。4年生から大学院生までも参加するゼミでは、新たな専門用語が飛び交い、3年生にはかなりハードな時間だと思えます。そこで、勉強会などを通して研究分野に必要な基礎

知識を必死に吸収していきます。ここでは、プレゼンテーション・スキルも含め、かなり主体的な学びの姿勢が養われ、4年生の卒業論文につながっていきます。自身の進捗状況を毎週のゼミで発表し、教員からマンツーマンの指導を受けながら卒業論文を完成させていきます。このような経験を積むことで、卒業時にはかなりの成長が見られます。

大学院博士前期課程に進学すると、学会での研究発表の機会も多くあります。研究の進み具合によっては、国際会議で英語による発表を行う学生もいます。国内学会でも他大学の同世代の学生さんからの刺激は非常に強く、かなりの発奮材料になるようです。学会発表を経験した後の修士論文への取り組み姿勢は、より主体的、積極的となります。また、企業の研究者・技術者との交流により、実践的な視点からのコメントをもらえることも、貴重な体験になります。このように学部3年生から修士2年生までの4年間指導教員の元で学び続ける生活を通して、学生さんは大きく成長していきます。特に4年生から修士課程での成長は非常に著しいと感じます。保護者の皆様には、お子様が大学院修士課程へ進学を希望するときには是非、ご支援をよろしくお願い致します。

2023年度秋季学位記授与式・秋季入学式を開催しました

学位記授与式

開催日：2023年9月13日(水)

秋季学位記授与者：

【学部】7名

【大学院】博士前期課程23名、博士後期課程5名



入学式

開催日：2023年9月29日(金)

秋季入学者：

【学部】17名、

【大学院】博士前期課程31名、博士後期課程8名



学生の活動紹介 ～大学発ベンチャー～ <StoD>

StoD代表の学部3年・能勢航羽です。私は個人事業主として2023年6月に起業し、「スキルを活かせる場所をつくる」をモットーに、マーケティングと効率化に関する事業を行なっています。現在は、公式LINEを用いた企業のDX化と販売促進、そして、「IdeaShare」という企業課題とアイデアのマッチングが行えるサービスの提供を行なっています。

私が起業を本格的に志したのは、会津大学でITを学び始めてからです。ITを授業で学びながら勉強会等にも参加し、初めて業務用のアプリを作成したときには、とても感動しました。

ITを用いれば、日常にある単純な仕事のほとんどが効率化できることを知ったからです。

そこから私は、アプリの開発に興味を湧き、プログラミングというスキルを活かして様々な仕事を行いました。それがとても楽しく、やり甲斐を感じることもできました。

そこで私は、「スキルを活かして仕事をする」ことを誰もが出来るような場所をつくりたいと思い、起業をしました。

現在は、LINEを用いたDX化による効率化、IdeaShareによる新たなスキルの創出を目的とした2つの事業を行っております。

今後は、現在の2つの事業を進めていくことで、自分の周りから徐々にスキルを活かせる場所を増やしていき、最終的には私たちの事業に関わることで「面白い」、「楽しい」を創出していけるような企業にしていきたいと考えています。

また私たちの活動によりスキルを活かし、新たな可能性を開花させる機会を提供していきたいです。



StoDのメンバー
(中央：代表の能勢さん)

学生の活動紹介 ～学習支援ボランティア～

現在、教職課程を履修している学部4年の村上友耶です。今回、会津若松市立第一中学校の協力のもとで、中学校の冬季休暇期間に行われている学習会に、同じく教職課程を履修している芳賀佑介さん、篠原美穂さんと一緒に講師として参加させていただきました。私たちは、80分の授業を自ら組み立て、英語と数学の授業をさせていただきました。

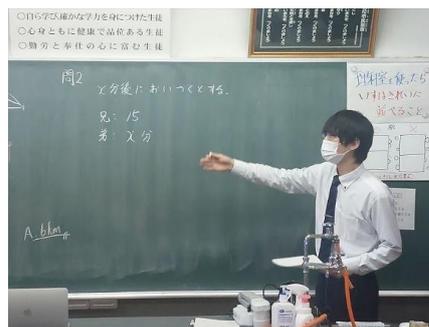
2023年10月より、蛭名正司上級准教授からのアドバイスを受けながら、若松一中で学習支援ボランティアとして授業のアシスタントをさせていただいております。そんなボランティア活動をしている中で、若松一中の先生方から今回の活動について提案していただき、本活動を実現することができました。

実際に中学生を目の前にし、授業をする中で、授業準備の大変さや生徒全員にわかりやすく伝えることの難しさなどを体感しました。その一方で、授業の中で生徒たちが呟いてくれた「なるほど」や「わかりやすい」といった言葉や、積極的に質問をしてくる生徒たちの姿勢にやりがいを感じる場面も多々ありました。そこには大変さや難しさにも勝る喜びがあったと思います。また、今回は冬季休暇期間中であつたにも関わらず、中学校の先生方が携わってくださり、授業を行う環境の整備や教材作成の際に参考になる資料の提供など、多くのご協力をいただきました。この場をお借りして再度、感謝の気持ちを示したいと思います。本当にありがとうございました。

今後、私は教員免許の取得を目指して学習を進めていきたいと思っています。今回の経験を活かしつつ、会津大の卒業生ならではのGIGスクール構想に対応できる教員になれるよう頑張っていきたいと思っています。



学習会の様子



講師として授業を行う様子

会津大学学園祭 -蒼翔祭- の紹介 <実行委員長 渡辺涼太さん>



こんにちは!会津大学学園祭実行委員会です。私たちは毎年開催される会津大学学園祭、通称「蒼翔祭」に向けて日々活動をしています。

今回は今年度の学園祭実行委員会の活動について紹介します。

【2023年度の学園祭について】

今年度の学園祭は例年より遅い11月4日と11月5日に開催しました。肌寒い時期ではありましたが、多くのお客様がご来場いただきました。今年度の学園祭では、昨年好評だった「ドローン体験会」や軽音部や吹奏楽部を中心としたステージ企画などの人気企画、そして多くの企業を招いた「蒼翔祭ハッカソン」、6年ぶりの復活となった「IoTピザ窯」など、実行委員会の企画が充実していました。また、地元中学校とのコラボ看板の作成、毎年恒例

のスペシャルゲストには GAG さんとミクミクサイダーさんを招き、選挙啓発のゲストには美少女図鑑の方をお迎えしました。さらに、コロナ禍以前に実施していたオープンラボや、同時開催したオープンキャンパスを通して、会津大学全体で大いに盛り上がりました。

【学園祭実行委員長から見た学園祭について】

今年度の学園祭のテーマは「cd UoA_30th 思い出いっぱい、30年目」でしたが、個人的なテーマとして「会津大学らしい学園祭」を掲げました。理由としては、30周年を迎えるにも関わらず、学園祭には「会津大学らしい」企画が少ないと感じていたからです。学園祭委員長として、「蒼翔祭ハッカソン」や「IoTピザ窯」など「会津大学らしい」企画を計画し、学園祭をより盛り上げようと考えました。

準備にあたっては、企業様に協賛をお願いするために、体当たりで電話営業を行ったり、学内の開発系サークルに協力をお願いしたり、ピザ窯に詳しい人に話を伺うために会津中を回るなど、多くの困難がありました。

結果として、お客さんも例年以上に集まり、学園祭としては大成功だったと考えています。

【今後の学園祭について】

今年度の学園祭は、コロナ前とほぼ同じ環境で実施することができました。このまま何もないければ、来年度以降も同様の規模での実施になると思います。私たちはコロナの影響を受けた世代で、コロナ前の学園祭を知らないメンバーがほとんどでした。そのため、コロナ前の環境に戻すという難しさがあり、多くの点で苦労しました。私自身、来年度はサポートに回りますが、3年間の学園祭で得た経験や知識を後輩に引き継ぎ、今年度と同様かそれ以上の規模を目指してほしいと考えています。来年度の学園祭に参加していただく方は、ぜひ楽しみにお待ちいただければ幸いです。応援のほど、よろしくお願いします。



会津大学コミュニティースペース「きやれ」が完成しました

2023年12月15日(金)に会津大学学生ホール1階に会津大学コミュニティースペース「きやれ」(南会津南郷地区の方言で「来てください」の意)が完成し、開所式が行われました。

今後「きやれ」は、学生・教職員が打ち合わせや学修、発表などに利用するほか、地域の方との交流事業や伝統文化等の体験学習にも活用していきます。

「きやれ」は、会津大学開学30周年記念事業として開設し、後援会からも寄付をいたしました。



除幕式の様子



室内の様子



会津大学の国際化、2023年度中期留学プログラム参加学生の研修報告

～会津大学学生課国際係・グローバル推進本部 国際戦略室～

海外留学を希望する学生が増えている中、本学では、「留学準備」「短期留学」「中期留学」と3つの留学プログラムを用意し学生の留学を支援しています。2023年度は30名の学生がプログラムに参加しました。ここでは、アメリカ、ドイツの協定校へ6か月間留学した学生の報告をご紹介します。

中期留学: ローズハルマン工科大学(アメリカ インディアナ州) 派遣期間: 6か月(2023年8月～2024年2月)

1) 橋本 望さん (学部3年)

留学の理由は、自分の英語力の向上と自分の研究に関する必要な知識を学ぶためです。また、日本を飛び出して世界を見たいという漠然とした思いがありました。アメリカについて最初の1か月は、環境に慣れることに精一杯でした。自分の英語が伝わらないことや、相手の話すことが理解できないなど、心が折れそうな日もありました。また、文化の違いからすれ違うこともありましたが、異文化に対する理解を深めることができました。さらに、人との関り方について勉強することができました。



橋本望さん: "R"の文字の右側

この留学を通して、多くのことを経験し、学ぶことができました。留学前の私は、自分の気持ちや考えを伝えることが得意ではありませんでした。今では、自分の主張をすることができ、積極的に会話に入ることができるほど成長することができました。最初から、すべてのことがうまくいく人はいません。失敗を恐れずに、挑戦し続けることが大切だと思います。失敗から学ぶことの方が多くと考えます。新しいことに挑戦するときに不安を感じる時もあると思います。やらない後の後悔よりも、やった後の後悔の方が自分自身の成長に繋がると、この留学を通して学びました。

2) 中島 萌々子さん (学部3年)

会津大学に通う留学生と交流する中で、留学生が持つ新たな考え方を知り、海外に対する好奇心がより強くなったことが、このプログラムに参加することを決意したきっかけとなりました。

実際に6か月間アメリカで過ごして、私は、伝えることの大切さ、そして自ら行動することの大切さを学びました。はじめは、全く英語力が足りないと自覚させられる出来事ばかりでした。授業であまり発言できなければ、友達にも自分の気持ちを正確に伝えられないのです。ここで私は、新たな挑戦をしました。それは、何事もとりあえずやってみることです。とりあえず英語は話し続け、授業中はたくさん発言する生徒に対抗して、間違っても積極的に発言しました。この行動が私の考えを大きく変え、私に自信を与えてくれました。

そして幸運なことに、私はとても親切な友達と出会うことができました。彼らはいつも新しい言葉を教えてくれて、私が新しい言葉を使うと褒めてくれます。最高の環境と仲間と恵まれ、アメリカでの生活は、私に新たな挑戦への一步を示し、成長と学びの機会を与えてくれました。これからもこの経験を生かして、たくさんのことに挑戦していきたいです。



中島萌々子さん: 2列目右から5番目
橋本望さん: 3列目左から4番目

中期留学: オストバイエルン・レーゲンスブルク応用大学(ドイツ レーゲンスブルグ) 派遣期間: 6か月(2023年9月～2024年2月)

◆ 照島 明希さん (学部3年)

私がこの留学に課した目的は「より実践的な授業を受けるため」です。結果的にこの留学は、どの瞬間も忘れ難い、とても有意義なものとなりました。

大学での授業は、座学はもちろんのこと、実際にコードを書き、成果物をだすことにも力を入れています。授業のレベルもとて

も高く、またどの学生も意欲に満ちているので、私自身も集中して勉強を行える環境に身を置くことができました。

また他の留学生との交流も盛んに行いました。最初は留学生の語学力の高さに圧倒され、劣等感を感じてしまうことが多々あり、その度になぜ自分はここにいるのかと自問自答をしました。しかし他の留学生と仲良くなるにつれて、コミュニケーションをとる機会も増え、最終的に友達と語学力の両方を得ることができました。同時に自分自身に自信が付き、今までは何かと理由をつけて行動を起こさないことも、一度やってみようという前向きな選択肢をとれるようになりました。

ここでの経験で得たことや学んだこと、感動したことも辛かったことも、一生物の宝となるでしょう。この宝を離さず、また経験に驕らず、学びと成長を続けていきたいです。



照島明希さん：前から2段目中央

学生作成ビデオ紹介コーナー

アメリカ、ニュージーランドへの3週間の短期留学プログラムでは、参加学生が5分程度のビデオを作成します。今回はアメリカへ留学する金子開成さんのビデオを紹介します。完成したビデオはYouTubeで閲覧できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=tjATGNccmpU>

◆金子 開成さん(学部3年)

みなさんこんにちは。私はローズハルマン工科大学でレベルの高い授業聴講と異文化の中で生活することで、自分自身が成長することを目的としてこのプログラムへの参加を決意しました。3週間という短期間で、目的を果たせるように積極的に行動したいです。

留学前の課題として、会津大学の留学生へインタビューをしました。協力してくれた方は、シリアから来たアハメドさんです。

彼とはグローバルラウンジ(留学生と交流できる場所)で仲良くなりました。彼は日本語も上手で、ユーモアも持っているので、日本人の友達が多い印象です。

留学中もインタビュー動画とブログを作成するので、留学前に作った動画よりもさらに良い動画を作るよう心がけます。また、留学まで支えてくださった友達や家族、このプログラムに携わった全ての方に感謝します。



会津大学で学ぶ留学生が増えています

本学では、外国人教員が全教員の38.6%を占め(2024年1月時点)、海外の研究者との共同研究を通じて構築された国際的なネットワークが、協定大学との緊密な連携を生み出しています。現在22か国・地域、67の大学・研究所との一般協定が締結され、多様な教育研究交流が推進されています。

また、2016年度からはICTグローバルプログラム全英語コースが開始され、学部でも英語による授業の受講が可能となりました。これにより外国人留学生が増え、2024年10月時点では過去最高の31か国・地域から195名が会津大学で学んでいます。

さらに、外国人学生と日本人学生の交流を促進するために、グローバルラウンジでの英語や日本語での活動を通して、異なる国々をつなぐ幅広い人的ネットワークが形成されています。

今後も会津大学では国際的な人的交流を促進し、多様性と包摂性を備えた人材育成に注力してまいります。

※会津大学での海外留学、国際交流等については、下記からご覧いただけます。

- 国際戦略室 ウェブサイト ----- <https://u-aizu.ac.jp/osip/>
- プログラムに参加した学生のレポート -- <https://u-aizu.ac.jp/osip/dispatch/report/>
- グローバルラウンジの活動について---- <https://u-aizu.ac.jp/osip/abroad/gl.html>
- 海外の協定大学との連携 ----- <https://u-aizu.ac.jp/osip/school/index.html>

学内ニュース

1 スキルアップ奨励事業

学生のコンピュータの専門知識及び語学力の向上を図るため、情報処理技術者試験の合格者及び TOEIC 等の語学試験の高得点獲得者に奨励金を支給しています。該当人数は以下のとおりです。

(情報処理技術者試験)

■応用情報技術者	4名	(1年生(2)、2年生(0)、3年生(2)、4年生(0))
■ネットワークスペシャリスト	1名	(1年生(0)、2年生(0)、3年生(1)、4年生(0))
■データベーススペシャリスト	1名	(1年生(1)、2年生(0)、3年生(0)、4年生(0))

(TOEIC)

■600点以上730点未満	48名	(1年生(13)、2年生(3)、3年生(19)、4年生(13))
■730点以上860点未満	32名	(1年生(4)、2年生(6)、3年生(11)、4年生(11))
■860点以上	13名	(1年生(1)、2年生(8)、3年生(4)、4年生(0))
■Speaking110点以上	5名	(1年生(0)、2年生(2)、3年生(0)、4年生(3))
■Speaking150点以上	1名	(1年生(0)、2年生(1)、3年生(0)、4年生(0))
■TOEIC 受験料補助	2名	(1年生(0)、2年生(0)、3年生(0)、4年生(2))

2 就職活動交通費、宿泊費補助事業

首都圏等、遠方で就職活動をすることが多くなる学生に、公共交通機関の利用に伴う交通費と宿泊費を補助する就職活動交通費及び宿泊費補助事業を実施しています。

2020年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインでの採用選考が増加したため、補助件数は減少傾向が見られます。

■交通費	3・4年生	16名
■宿泊費	3・4年生	7名

3 研修助成事業

学生の国際学会及び研修会等の参加を奨励するため、海外で開催される国際学会において研究成果を発表する学生や、国内外を問わず、学生の指導教員が有意義と認める研修会等へ参加する学生に対し、旅費の一部を助成しています。

■国内学会・研修会への助成	1名
---------------	----

4 クラス活動補助事業

教員と学生同士の日常的な結びつけを強め、常に気軽に相談し合える環境を作るため、クラス単位の活動(食事会、レクリエーション活動)に係る経費の一部を助成しました。

■利用クラス数	7クラス
---------	------

5 朝食定期券助成

学生の健全な食生活の維持と向上を目的に「朝食定期券」の購入金額の一部を食堂と協力し助成しました。多くの学生が大学で朝食をとり、講義に臨んでいます。

2023年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の社会的影響を鑑み、学生の経済的支援するため、特別価格として、一か月分を1,500円で提供しました。(前期4月～7月、後期10月～1月に実施)

■利用枚数計	1,007枚 (助成額計 4,036,784円)
--------	--------------------------

6 保護者のための就職活動支援

後援会では、保護者のみなさま向けの就職支援サイトを開設しました。また、あわせて保護者向けの就職支援セミナー動画を配信しています。

1. 就職支援サイト

URL: <https://career-book.jp/login>

2. 就職支援セミナー動画

URL: https://web-int.u-aizu.ac.jp/official/students/sad/career/support_association/seminar_support_association.pdf

ID、パスワードについては、学生の皆さまにお伝えしておりますので、ご確認ください。
なお、ログイン方法等、不明点ございましたら事務局までお問い合わせください。

2024年度 後援会事業予定

- 通年・新入生クラス活動支援事業
- ・就職活動交通費・宿泊費補助事業
 - ・ボランティア活動費補助事業
 - ・スキルアップ奨励金事業
 - ・朝食定期券補助事業
 - ・保護者のための就職支援サイト運営

- 4月 後援会総会および
第1回後援会役員会
- 7月 学生会・学園祭実行委員会への助成
- 8月 後援会だより52号発行
- 10月 第2回後援会役員会
- 3月 後援会だより53号発行
第3回後援会役員会
卒業記念パーティー

※上記はあくまでも予定であり、時期や内容等は変更になる可能性があります

■ 就職相談・就職支援

企業の採用選考方法においてウェブ面接などのオンライン化が一気に進んだことを受けて、本学での就職支援においても積極的にオンラインツールを活用しています。(例:Zoom等のウェブミーティングシステムによる説明会の開催、求人・就活情報等のウェブ掲示、就職支援室でのリモート相談など)

一方、希望する学生には対面での就職相談や面接指導を行い、学生一人ひとりに寄り添ったきめ細かい就職支援ができるよう取り組んでいます。

■ 学内就活関連イベント

就職支援室では、学生のニーズや企業の採用選考方法にあわせ、オンラインと対面で、説明会等を実施しています。

◎合同業界研究会（県内企業）2024年2月27日・28日

参加企業：アルプスアルパイン、オリンパス、JR東日本、信越化学工業、セイコーエプソン、東邦銀行、福島情報処理センター、東日本計算センターなど16社

◎合同企業説明会（県外企業）2024年3月6日・7日・8日

参加企業：アイリスオーヤマ、伊藤忠テクノソリューションズ、京セラコミュニケーションシステム、スズキ、トヨタ自動車東日本、日本オラクル、ブルボンなど30社（予定）

上記のほか、企業が個別に説明会を実施する個別企業説明会等も随時ご案内しています。

■ 2023年度会津大学就職内定率(2024年1月現在)

【学部】	進路	希望者数	決定者数
(1) 就職	●民間企業	139	132
	(就職内定率)		(95.0%)
	●教員	0	0
	●公務員・団体等	3	3
	起業・家業	0	0
	就職合計	142	135
(2) 進学	■本学大学院	42	33
	■他の大学院	5	5
	■海外の大学院	0	0
	進学合計	47	38

【大学院】	進路	希望者数	決定者数
(1) 就職	●民間企業	74	70
	(就職内定率)		(94.6%)
	●教員	0	0
	●公務員・団体等	0	0
	起業・家業	0	0
	就職合計	74	70
(2) 進学	■本学大学院	12	7
	■他の大学院	0	0
	■海外の大学院	1	0
	進学合計	13	7

お知らせ

● 会津大学事務局・後援会事務局からのお知らせ

2024年3月19日に2023年度春季学位記授与式を執り行います。保護者・来賓列席のもと開催しますが、会場（会津大学講堂）内の保護者席には限りがあり、卒業生一人につき保護者お一人の参加でお願いしております。なお、式終了後、後援会主催で卒業パーティーを学生食堂で開催いたします。保護者の方々も無料でご参加いただけますので是非ご参加ください。

● 学生課からのお知らせ

〔 授業料徴収時期の変更について 〕

2023年度より、授業料の徴収時期が変更となっています。以下の日程で口座振替による引落請求をさせていただきますので、前日までにご準備くださいますようお願いいたします。

【旧】2022年度まで

- 前期授業料 4月末日
- 後期授業料 10月末日

【新】2023年度から

- 前期授業料 5月末日
- 後期授業料 11月末日

〔 卒業記念アルバム 〕

卒業アルバムは、(株)メディア出版新潟支社が作成・販売し、予約も同社が直接受け付けます。なお、詳細につきましては別途案内を郵送いたします。

〔 成績表の保護者への送付 〕

ご家庭においても大学での学修状況を確認いただくとともに、大学生活の話をするきっかけとしていただきたく、保護者の皆様へ成績表をお送りしています（例年3月中）。

4月上旬になっても御手元に届かない場合は、御手数でもご連絡をくださいますようお願いいたします。

■連絡先 教務係 0242-37-2600

〔 転居等による住所の変更 〕

保護者あての送付物が「転居先不明」で戻ってくる事例が多く見受けられます。

以前大学に届出いただいている住所から変更した場合は、速やかに「連絡先変更届」を御提出くださるようお願いいたします。

■連絡先 学生支援係 0242-37-2515

2024年度 会津大学教務日程(予定)

【前期(第1・2学期)】

3月4日～6日	履修登録期間
4月2日～5日	健康診断
4月3日	入学式
4月3日～5日	新入生オリエンテーション
4月8日	前期・第1学期授業開始
5月15日、22日	内科検診
6月3日～7日	第1学期試験
6月10日	第2学期授業開始
7月31日～8月6日	前期・第2学期試験
8月7日～9月30日	夏季休業

【後期(第3・4学期)】

9月2日～4日	履修登録期間
10月2日	後期・第3学期授業開始
10月12日、13日	蒼翔祭
11月26日～12月2日	第3学期試験
12月3日	第4学期授業開始
12月24日～1月3日	冬季休業
2月6日～12日	後期・第4学期試験
2月17日、18日	卒業論文発表会
3月1日～31日	春季休業
3月21日	学位記授与式